

令和6年度沖縄県スポーツ少年団軟式野球先島ブロック交流大会

実施要項

- 1 趣 旨 地域のスポーツ少年団員・指導者が集い、軟式野球競技をとおして健康な体と心を養い、友情と協力の和を広げることと、青少年の健全育成を目的に開催する
- 2 主 催 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・沖縄県スポーツ少年団
石垣市スポーツ少年団・沖縄県・石垣市・竹富町
- 3 主 管 八重山地区学童野球指導者会
- 4 後 援 沖縄県スポーツ少年団指導者協議会・沖縄県野球連盟・八重山野球連盟
- 5 期 日 令和6年5月11日（土）・5月18日（土）・5月25日（土）
- 6 場 所 ロートスタジアム石垣・第2球場
- 7 参加資格 (1) 令和6年度スポーツ少年団登録団員・指導者であること
(2) スポーツ安全保険に加入していること
(3) 指導者は、原則として2名は、日本スポーツ少年団指導者制度に基づく有資格者（認定員・コーチングアシスタント・スタートコーチ）であること
(4) 団員は、保護者の承認を得た者であること
- 8 チーム編成 チーム編成は、指導者3名（監督、コーチ）以内、団員は25名以内とする（監督、コーチは20歳以上の成人とする）
- 9 競技規則 (1) 令和6年度公認野球規則及び大会特別規定により行う
(2) 全試合6イニング制および時間制限(1時間30分)とし、正式試合(コールドゲーム)になる回数は3回以降10点差、5回以降7点差が生じた場合(決勝戦も適用する)
(3) 6イニングもしくは90分以内とする。A先行で4回表に90分経過した場合4回裏の攻撃まで行う。
(4) 2イニング、タイブレークが完了しても決着がつかない場合、抽選で勝敗を決定する。ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまでタイブレーク方式を続行する。
(5) 守備の時間が長い場合（概ね20分）には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする（試合時間に入れない）
(6) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は、1日70球以内（4年生以下の投手は60球）を投球できる。試合中に70球（4年生以下の投手は60球）に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる

- (7) 日没、降雨コールドゲームは5回以降とする
- (8) 金属バット、ハイコンバット、捕手マスク、スロートガード、プロテクター、レガース、ヘルメットはJSBBマーク入りのものを使用する
- (9) 打者、走者、次打者、ベースコーチは必ずヘルメットを着用する
- (10) 監督、コーチ、選手は同一のユニホーム（一式）を着用する
- (11) 熱中症対策として保護者2名をベンチ入りさせること

10 使用球 財団法人全日本軟式野球連盟公認球（ナイガイ）を使用する

11 表彰 優勝、準優勝チームを表彰する（個人表彰はなし）

12 派遣 優勝チームは九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会へ出場
（今年は佐賀県で開催する予定）

13 参加申込 申込締切 令和6年5月 2 日（木）午後 5 時必着（FAX可）
申込場所 石垣市スポーツ少年団事務局 担当：大浜 雅史
（石垣市総合体育館 （一社）石垣市体育協会内）
TEL/FAX：0980-82-1820

14 組合せ抽選 下記のとおり監督会議を開き、組合せ抽選を行う
監督会議並びに抽選会
（1）期日 令和6年4月26日（金）
（2）時間 午後7時～
（3）場所 石垣市総合体育館研修室

15 諸注意（1）大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すがそれ以外の責任は負
われない
（2）運営について監督や父母会は、全面的に協力すること
（3）試合終了後の清掃は、スポーツマンの名誉のために「来た時よりも美しく」
をモットーに周りを確実にきれいにする
（4）試合中は相手チーム（個人等）に対して、スポーツマンらしくない言動（ヤ
ジなど）は絶対にしないこと
（5）弁当・飲物等のごみは各チームで持ち帰ること
（6）開会式・閉会式には、単位スポーツ少年団の旗を持って整列すること
（7）団員章・指導者章は左袖につけること
（8）義務審判（保護者審判）への抗議を禁止する